

リレー探究

1 テーマ 北海道の歴史と現在^{いま}

2 実施日程及び教科・科目等

会場	旭陵館			旭陵館		
日時	11月1日(水)7限			11月8日(水)7限		
教科・科目	ガイダンス	日本史	化学	家庭	英語	まとめ
授業者						
時間	5分	25分	25分	25分	25分	5分

3 講義の内容

	授業内容	時間
ガイダンス	・「多様な視点から課題を発見する力を身に付ける」というリレー探究の目標を確認する。	5分
日本史	・開拓史を一つの例とした、山口県からの移民の歴史について学び、その背景等について考える。	25分
化学	・20世紀初頭から北海道において盛んである麦酒産業に、化学の知見がどのように生かされているかを学ぶ。	25分
家庭	・北海道の住居の特徴について学ぶことを通して、移住した人たちが作り上げてきた北海道の暮らしについて考える。	25分
英語	・札幌農学校におけるクラーク博士のスピーチから、博士が学生たちに伝えようとした思いを読み取る。	25分
まとめ	・リレー探究を通して学んだ、テーマについて多様な視点からアプローチする方法を、これから行う課題研究に生かすことの重要性を確認する。	5分

4 その他

掃除については、両日とも簡易掃除とする。(普通科2年次のみ)

第1走	地歴・公民	11月1日(水)	7限	北海道の「開拓」は、誰が行ったのか
【ねらい】 北海道の開拓を例として、日本近代国家形成の光と影について考える。				
1 地図帳を使って				
①北海道に、本州でも聞いたことがあるような地名はないか？				
②なぜ、上記①のような地名があると考えるか？				
2 北海道開拓の始まりについて				
3 日本近代国家の形成について				

第2走	理科(化学)	11月1日(水)	7限	麦酒(ビール)の歴史
-----	--------	----------	----	------------

ビールの印象は？

【開拓使麦酒醸造所】

- ・もともとは()に建設予定
→()の存在をアピールするため
- ・()が北海道に建設するように提言を出した
→北海道に麦酒工場を設立した理由として、原料である()、()、()が豊富にあり、世界的なビール生産国である()や()と気候がよく似ていることが挙げられる
→日本のビール産業に大きく影響した
- ・明治9年(1876年)9月23日に北海道に建設
- ・()と()の柱
- ・当時の札幌の人口はわずか3000人足らず
→()も()もない
ビール工場を札幌に作ると、関連施設や交通、輸送手段の整備が必要になる
- ・開拓使麦酒醸造所→札幌麦酒醸造所→大倉組札幌麦酒醸造所→札幌麦酒会社設立
札幌麦酒会社には()らが参画した

【ビールの作り方】

- ・ビールの原材料:()、()、()、()
- ・麦芽の中の白いかたまり=()→()へと変化させる
変化させた糖分を()と()に変化させることを()という
これが終わったビールは()と呼ばれる

[下線部の反応を化学反応式で表してみよう!]

【感想・メモ】

第3走	家庭	11月8日(水)	7限	北海道の暮らし
【ねらい】北海道の住居の特徴について学ぶことを通して、移住した人たちが創り上げてきた北海道の暮らしについて考える。				
1. 開墾期の屯田兵の住居の特徴をまとめてみましょう。				
2. 現代の北海道の住居はどのようなになっているでしょう。				
屋 根				
玄 関				
窓ガラス				
暖 房				
3. 現代の北海道の住居と開拓時代の住居を比較して、気づいたことを書きましょう。				
4. 信号や道路標識にも北海道らしさが見られます。どんな特徴があるでしょう？				
【感想・メモ】				

